

土木學會第四回總會會長講演

工學博士 野村龍太郎

是ヨリ直ニ講演ニ移リマス——講演ニ先立チマシテ一言御挨拶ヲ致シマス——私ハ不肖ノ身ヲ以チマシテ昨年ノ總會ニ於キマシテ會長ニ當選致シマシタノハ私ニ取リマシテ洵ニ光榮ノ至テアリマス而シテ諸君ノ御同情ト御援助ニ依リマシテ無事任期ヲ終了致シマシタノハ深ク感謝スル次第テアリマスルガ併シ何等此ノ任期中ニ成績ノ見ルヘキモノガナカツタノハ甚タ耻入ル次第テアリマス此ノ機會ニ於キマシテ感謝ノ意ヲ表シ併セテ御詫ヲ致シマス私ハ實ハ戰時ノ鐵道ノ成績ニ就テオ話ヲシタイト云フ考テ少シ材料ヲ蒐メマシタトコロガ遺憾ナカラ未タ充分ナ材料ヲ蒐集スルコトカ出來マセヌテアリマシタカラ其ノオ話ハ止メニ致シマシテ本邦ノ鐵道ノ沿革ノ概要ト現狀ト將來ノコトニ就テ一言オ話ヲ致シタイト思ヒマスドウカ御清聽ヲ煩シマス

本邦ノ鐵道ハ明治三年ニ東京橫濱間及ヒ神戸大阪間線路ノ工事ニ著手シマシテ五年ニ東京橫濱間十八哩七年ニ神戸大阪間二十哩ノ運輸營業ノ開始ヲ以テ嚆矢ト致シマス其ノ當時ハマダ鎖國攘夷ノ餘燼尙熾テアリマシテ鐵道ノ何物タルヲ解スル者ハ至テ少ナイ時代テアリマシタ隨テ鐵道ノ建設ト云フ様ナコトハ非常ニ困難テアリシニモ拘ラス當局者カ萬難ヲ排シテ銳意此ノ事業ニ著手セラレマシタノハ今日鐵道ノ隆盛ヲ見ル所以テアリマシテ此ノ功績ニ就テ吾々カ永ク記念セネバナラヌコト、思ヒマス其ノ後十箇年間ト云フモノハ此ノ鐵道ノ工事モ頗ル遅々ト致

シマシテ僅ニ七十六哩ノ開通ヲ見ルニ過キマセヌデアリマシタ併シ此ノ時代ハ或ハ佐賀ノ役ダ
トカ或ハ薩南ノ變亂等ガアリマシテ國事多難ノ際デアリマスカラ又已ムヲ得ヌコト、考ヘマス
明治十四年ニ東京青森間ノ鐵道建設ノ目的ヲ以テマシテ日本鐵道會社カ創立ニナリマシタ而シ
テ其ノ翌年カラ工事ニ著手シマシテ其ノ一部開通ノ結果營業ノ成績カ甚タ良好デアリマシタカ
ラ鐵道熱カ追々ニ勃興シマシテ私設鐵道ノ計畫モ續々起リマシタ明治二十五年鐵道敷設法ノ發
布セララル、ニ當リマシテハ十六會社ノ多キニ至リマシタ就中主ナルモノハ山陽九州關西北海道
炭礦等デアリマス而シテ敷設法ノ發布前即チ二十四年度末ニ於ケル官私鐵道ノ開業哩數及ヒ建
設費ハ左ノ通りデアリマス

官設鐵道

五五^一

三三、〇六八、一八三^四

私設鐵道

一、一六五

四三、九八〇、五〇七

計

一、七七一

七七、〇四八、六九〇

明治二十五年ニ鐵道敷設法カ發布セラレ鐵道ノ系絡ノ規定セラレマスルヤ政府ハ直ニ豫定線路
ノ調査ニ著手スルト共ニ建設工事ヲ施行セラレマシタガ又一面ニハ相當條件ノ下ニ私設鐵道ニ
モ敷設ヲ許可スルコトニナリマシタ故ニ引續キ私設ノ會社モ各地ニ勃興シマシテ建設工事ヲ進
ムルニ至リマシテ三十八年度末ニ於ケル開業哩數及建設費ハ左ノ通りデアリマス

官設鐵道

一、五三一^一

一五九、九一八、四四五^四

私設鐵道

三、二四七

二七四、六七三、二一〇

計

四、七七八

四三四、五九一、六五五

案トヲ提出ニナリマシテ兩院ヲ通過致シマシタ而シテ三十九年三月ヲ以テ兩法案トモ公布ニナリマシタ而シテ同年ノ十月カラ私設鐵道ノ買收ニ著手セラレマシテ翌年九月ニ至ル滿一箇年間ニ於テ北海道炭礦甲武、日本、山陽、岩越、西成、九州、北越、總武、關西、參宮、北海道、京都、阪鶴、房總、七尾、德島ノ十七會社ノ鐵道全部ノ買收ヲ了セラレマシタ而シテ其ノ開業哩數ハ二千八百二十三哩七テアリマシテ買收價額ハ四億八千九百九拾八萬四千四百貳拾七圓テアリマシタ其ノ内テ船舶ト倉庫事業ノ兼業ニ係ル分カ貳百六拾五萬八千九百拾貳圓テアリマシタ前ニ申上ケマシタ通り私設鐵道ノ買收ハ非常ナル英斷ヲ以テ迅速ニ遂行セラレマシテ茲ニ政府元來ノ主義方針タル鐵道國有ノ解決ヲ見ルヲ得我邦ノ鐵道史上ニ一新紀元ヲ劃スルニ至リマシタ

其ノ後政府ハ買收鐵道ノ繼續工事ヲ遂行スルト共ニ新線ノ建設モ亦怠ラス遂行セラレマシテ著々其ノ進捗ヲ見ルニ至リマシタ又私設鐵道ハ鐵道國有法ノ實施ト共ニ一時中止ノ姿テアリマシタトコロガ明治四十三年八月ニ至リマシテ輕便鐵道法ヲ發布セラレマシタ又其ノ翌年ニ於キマシテ輕便鐵道補助法ノ發布ヲ見ルニ至リマシタ斯クシテ其ノ出願手續並ニ免許條件等カ頗ル簡便ニナリマシタト共ニ益金補助ノ特典ヲ與ヘラル、コトニナリマシタルニ依リ從來ノ私設鐵道テ輕便鐵道ノ指定ヲ受クルモノモ續々起リ又新ニ輕便鐵道ノ出願ヲ爲スモノモ頗ル多クナリマシテ大正五年度末ニ於キマシテ國有並ニ私設輕便鐵道ノ開業哩數並ニ建設費ハ左ノ如キ數字ヲ見ルニ至リマシタ

國有鐵道	五、八五八、七	一、一〇八、〇六〇、二三七
私設並輕便鐵道	一、七九九、四	一〇九、五二六、九六九
計	七、六五八、一	一、二一七、五八七、二〇六

今試ニ創業以來ノ線路建設ノ成績ヲ擧ケマスレハ次ノ如クニナリマス

年度末	國有鐵道	私設並輕便鐵道	計	年間	每年平均竣工哩數
明治三年	〇	〇	〇	〇	〇
同二十一年	五九八・二	四五〇・一	一〇四八・三	一九	五五・二
同三十一年	七七一・五	二六四九・一	三、四二〇・七	一〇	二二七・二
同四十二年	四五四・四	四七七・〇	五、〇一九・四	一〇	一五九・九
大正五年	五、八五八・七	一、七九九・四	七、六五八・一	八	三二九・八

尙又營業ノ方面ニ就キマシテハ詳細ニ申上ケルコトノ餘裕モアリマセヌカラ單ニ大正五年末ニ於ケル營業成績ヲ申上ケマスレハ左表ノ通りテアリマス

種類	哩數	資本	收入	支出	資金	貸入對 支出割合	資本對 資金割合
國有鐵道	5,858.7	1,108,060,227 ^円	141,255,332 ^円	65,196,299 ^円	76,059,023 ^円	462	669
私設鐵道	265.2	27,964,373	3,813,623	1,608,621	2,205,002	421	79
輕便鐵道 (明治31-40 ^年)	1,010.6	62,104,552	6,259,187	3,257,252	3,001,935	526	48
同上	441.9	15,559,290	1,705,323	1,141,854	563,469	670	37
同上 (前記以外ノ鐵道)	90.7	3,898,754	514,392	323,607	190,785	371	49

前記ノ成績ニ依リマスレハ國有並ニ私設鐵道ノ如キハ相常ノ利益ヲ擧ケテ居リマスルガ輕便鐵道ニ至リマシテハ其ノ利益カ平均五分ニ達シマセヌ尤モ此ノ利益ノ少キ鐵道ハ輕便鐵道補助法ニ依リマシテ五分ノ補給ハ受ケテ居ル筈テアリマスケレトモ尙借入金等ノ利子ノ支拂等ニ其ノ幾分ヲ支出致シマスルカラ五分ノ配當ヲシテ居ルモノハ甚タ少イノテアリマス如ク輕便鐵道カ一般ニ利益ノ少ナイ所以ハ主トシテ短距離ノ鐵道カ割據獨立シテ居ル弊テアラウ下思ヒマ

スルデ此ノ儘テ推シ移ツテ往キマスルト或ハ今後解散ノ悲運ニ陥ルモノナキヲ保シ難イノテア
 リマス現ニ昨年銚子遊覽鐵道ノ如キハ總會ニ於テ解散ノ決議ヲ致シタト承知シマシタ是等ノ利
 益ノ少ナイ小鐵道ヲ如何ニシテ救濟カ出來ルカト申シマスレハ成ルヘク運輸系統ノ相似寄ツテ
 居ルモノヲ追々ニ合同スルノガ最モ上策ト考ヘマス斯ク致シマシテ主トシテ社内並ニ資本ノ整
 理ヲ致シマシタナラハ本社費ヲ第一ニ減スルコトガ出來マスソレカラ材料ノ購入配給等ニ於テ
 ハ大ニ節約ヲスルコトガ出來マスルシ又運輸ノ繁閑ニ應ジマシテ車輛其ノ他ヲ彼是流用スルノ
 利便モアリマス從テ收益ヲ増加シ鐵道モ自然改善スルコトガ出來マシテ大ニ鐵道ノ本能ヲ發揮
 スルコトガ出來ヨウト考ヘマスル故ニ成ルヘク此ノ小鐵道ト云フモノハ其ノ事ニ當テ居ル方々
 カ銳意合同ニ就キ實行ヲ圖ラレムコトヲ希望シテ已マサル次第テアリマスル
 以上申上ケマシタ通り我邦ノ鐵道ハ過去四十有餘年間ニ於キマシテ長足ノ進歩ヲ爲シマシタケ
 レトモガマダ鐵道網ノ完成ヲ期スルニハ今後幾多ノ歲月ヲ經ナケレハナラヌコトデアラウト思
 ヒマス而モ産業ノ振作國富ノ増進ヲ圖ルニハ交通機關ノ普及ヨリ急務ナルモノハナイト存シマ
 ス就中此ノ縱橫幹線ノ速成ハ最モ急務ト存スルノテアリマス
 目下政府ニ於テ著手中ノ本線並ニ輕便線ノ本年度建設費ノ豫算ハマダ之レハ決算ニハナリマセ
 スガ千百九拾五萬圓テアリマシテ本年度内ニ既ニ竣工シ又ハ竣工スヘキ線路ハ本線ニ百二十一
 哩二輕便線十六哩八合計百三十八哩テアリマス而シテ來年度以降ニ屬スル未成ノ線路並ニ建設
 費ハ――

線路
本鐵道

區間

哩數

建設費

根室及宗谷線

厚岸 根室
別根 內室
間

一一〇・七

七、九五四、二五一

線路	區間	哩數	建設費
北見線	下湧別名寄間	七六〇	四、八八一、三五八
增毛線	留萌增毛間	九〇	九八九、四七七
羽越線	村上秋田間	一二四〇	一六、八六〇、〇〇〇
房總線	勝山北條間	八四	一三〇、〇〇〇
小濱線	十村新舞鶴間	三三八	二、五二〇、〇〇〇
山陰線	及仁萬三谷間 及益田萩間	一一四四	一九、三四〇、〇〇〇
西條線	三島西條間	二一七	一、二七〇、〇〇〇
高知線	山田須崎間	三四〇	三、二五〇、〇〇〇
日豐線	宮崎佐伯間	八八〇	一、二、三〇〇、〇〇〇
小計		六三〇〇	六九、四九五、〇八六
輕便鐵道			
大湊線	野邊地大湊間	三八〇	一、七六〇、〇〇〇
橫手線	橫手黒澤尻間	三九〇	四、七五〇、〇〇〇
橋場線	盛岡橋場間	一六〇	七四三、三一二
左澤線	山形左澤間	一六〇	九一〇、〇〇〇
智頭線	鳥取智頭間	二〇〇	一、〇七〇、〇〇〇
根雨線	伯大山根雨間	一九〇	一、五七〇、〇〇〇
豐肥線	犬飼宮地間	三六〇	五、八九〇、〇〇〇
大口線	大口栗野間	一二〇	七四〇、〇〇〇
	音威子府稚内間	八七〇	四、三〇〇、〇〇〇
	俱知安枝線	九〇	三三〇、〇〇〇

北海道線

小計

相生美幌間	二二三・〇	一、一八九、〇〇〇
旭川るべしべ間	三〇〇・〇	一、六〇二、〇〇〇
斜里網走間	二四〇・〇	一、七二三、〇〇〇
帯廣上士幌間	二二三・〇	一、一一一、〇〇〇
渚滑さくくる間	三〇〇・〇	一、三〇五、〇〇〇
合計	四二二三・〇	二八、四九三、三一二

外ニ

車輛費	四、〇二三、〇〇〇
總係費	七九八、〇〇〇
合計	一〇、五二二・〇
合計	一〇、二八〇、九三九・八

以上既定ノ線路ノ外ニ尙左記ノ諸線路ノ速成ヲ希望スルノテアリマス左スレハ先ツ主要ノ幹線ノ大體ヲ完成スルコト、ナルト存シマスル

線路

長萬部室蘭(輪西)間	哩數 四八・〇	建設費 七、一四〇、〇〇〇
長岡高崎間	九六・〇	一、六七一、〇〇〇
勝浦北條間	二九・〇	六、七八〇、〇〇〇
岐阜富山間	一三七・〇	二、三二一、〇〇〇
和歌山相可間	二〇〇・〇	四一、〇二四、〇〇〇
舞鶴豐岡間	五三・〇	六、七五〇、〇〇〇
根雨湛井間	六四・〇	一、二七一、〇〇〇
津山新見間	四〇・〇	五、八七〇、〇〇〇
三次江津間	五四・〇	九、五七〇、〇〇〇

線路	哩數	建設費
萩 伊 佐 間	三三〇	四七四〇〇〇〇
池田山田間(四國)	四四〇	一三、五九〇、〇〇〇
中西觀音寺間(四國)	一六〇	三、五五〇、〇〇〇
西條松山八幡濱間	九〇〇	一、四三六、〇〇〇
八代川内間	六八〇	一〇、八一〇、〇〇〇
計	九七二〇	一七四、八九〇、〇〇〇

乃テ今政府テ既定ニナツテ居ルトコロノ未成線ノ建設費ト此ノ新線ノ建設費ヲ合シマスルト總計カ貳億七千七百六拾九萬九千參百九拾八圓トナリマス故ニ若シ之ヲ十箇年ニ完成スルコト、致シマスレハ毎年ノ建設費カ貳千七百七拾七萬圓弱ヲ支出スル勘定ニナリマス而シテ政府ハ毎年改良費ニ參千萬圓内外ト云フモノヲ支出セラレテ居リマシテ此ノ建設費ト改良費トヲ合シマシテモ尙五千七百萬圓餘即チ六千萬圓ニ達シナイノテアリマス是レ位ノ財源ヲ案出スルノハ格別困難ナルコトハモ考ヘラレマセヌ故ニ政府ハ銳意幹線ノ普及ヲ企圖セラレマシテ局部交通ノ要ニ供スル輕便鐵道ノ如キハ政府ヨリ之レヲ獎勵シテ民間ノ企業ニ委ネマシテ成ルヘク速ニ鐵道網ノ完成ヲ期セラレムコトヲ希望シテ已マサル次第テアリマス

是レテ話ハ終ト致シマス甚タ平凡ナコトニ御清聽ヲ煩ハシマシテ恐縮致シマス(拍手)(完)